

文教委員会資料

陳情第25号

「川崎市立橘高等学校屋外グラウンドの人工芝化に関する陳情」

令和2年1月30日
教育委員会事務局

陳情第25号「川崎市立橋高等学校 屋外グラウンドの人工芝化に関する陳情」資料

3 陳情の理由に対する状況等について

	状況等
土埃状況	①特に直射日光でグラウンドが乾燥しやすい夏場の強風時には、他の学校同様、土埃が立つことがあります。 ②冬はグラウンドにうっすらと霜が下りることで水分を含み、夏と比較すると土埃が立ちにくい状況です。
土埃対策(設備面)	①粒子が粗く埃が立ちにくい、排水性が良い岩瀬砂を使用しています。また、使用に伴い粒子が細くなるため、岩瀬砂を年3回補充しています。 ②グラウンド外周に6基、グラウンド中心に1基、計7基のスプリンクラーを設置し、グラウンド全体に散水できるようにしています。 ③東側から北側(テニスコート除く)は、高さ約3mの防砂ネットを設置し、西側のテニスコートは、高さ約2.6mの防砂ネットを設置しています。 ④グラウンド北側の中木(カイヅカイブキ)は、土埃の抑制にもなっています。
土埃対策(運用面)	①風が強い日にスプリンクラーで散水しています。なお、散水がグラウンドを超えてしまうほどの強風時には、一部のスプリンクラーを停止し散水しています。
植栽の状況	①西側(テニスコート付近)の植栽は、問題ありません。 ②北側・東側の低木等の一部は、枯れています。

1 橋高等学校の概要

(1) 学校概要	(2) グラウンド概要
①所在地 中原区中丸子562	①敷地面積 約23,400㎡
②創立 (全日制)昭和17年 (定時制)昭和23年	②グラウンド面積 約7,600㎡
③学科 (全日制)普通科・国際科・スポーツ科 (定時制)普通科	③スプリンクラー 7基
④生徒数 (全日制) 824人 (定時制) 128人	④防砂ネット グラウンドの東側、北側、西側に設置
⑤運動部 サッカー・陸上・野球 (グラウンド使用)	⑤植栽 【低木】ツツジ、サツキ 【中木】カイヅカイブキ・サザンカ 【高木】樺、桜 等

2 橋高等学校グラウンド状況



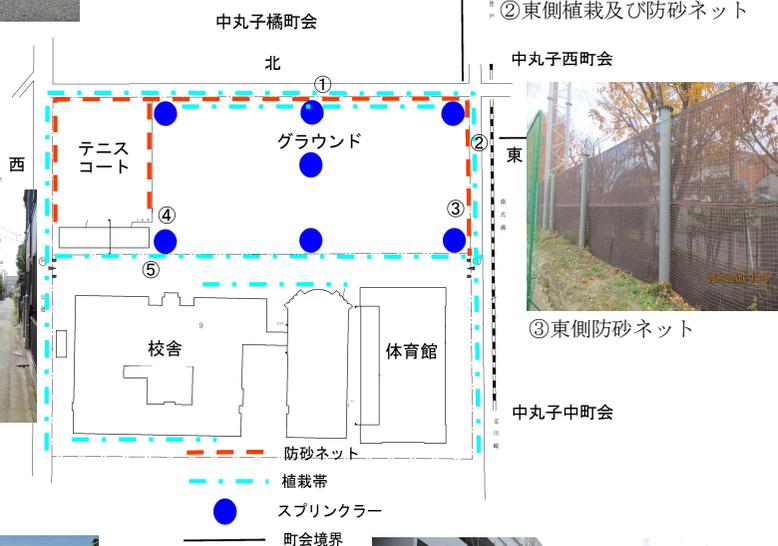
①北側植栽及び防砂ネット



②東側植栽及び防砂ネット



⑥西側植栽及び防砂ネット



③東側防砂ネット



⑤グラウンド (南西側から北側、西側)



④スプリンクラー (外周部)

4 陳情の要旨に対する本市の考え方

【1 人工芝化について】

- ① 橋高等学校の人工芝化にかかる概算費用は、施工に約1億3,500万円です。ランニングコストはゴムチップの補充に年間約8万円、メーカーが推奨する人工芝の張替えが、10年に1回で約1億2,300万、30年間のライフサイクルコストは、3億8,340万円、年平均1,278万円となります。
- ② 人工芝は、怪我をしにくい、降雨後の使用開始が早い等の長所はありますが、陸上競技(投擲競技含む)、バスケットボール等の適さないスポーツがある、夏は高温になりやすい、使用頻度が高い場所が傷みやすい等の短所があります。

※ 以上を踏まえ、橋高等学校のグラウンドを人工芝化することには、課題があることから困難であると考えております。

【2 植木(ツツジ等)の一部枯れている部分の再整備について】

- ① 北側の中木(グラウンド内)は、土埃の抑制にもなっています。
- ② 北側・東側の低木等の一部は、枯れています。なお、枯れた要因については、日光不足や水分不足ではないかと推測しています。

※ 以上を踏まえ、低木等が枯れた要因を確認した上で対応策を検討してまいります。

【3 今後の土埃対策について】

上記3で記載のとおり土埃対策を行っているところですが、現状をふまえ、次のとおり改善の対策を行います。

- ① スプリンクラーの散水は、現在、風が強くなってから散水していますが、強風が予想される場合は事前に散水するように努め、散水時にはグラウンドを超えないよう一層注意してまいります。また、グラウンドが乾燥しやすい夏場は、適宜、散水することでグラウンドの乾燥を抑制し、土埃の軽減に努めてまいります。
- ② 塩化カルシウムをグラウンドに散布することにより、保湿力の向上に繋がり、埃が立ちにくくなる効果が期待できることから、撒く時期や回数等、学校と協議し、土埃の軽減に努めてまいります。